

令和 5 年

第 1 回（3 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	1 番 前 田 博 司 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 施政方針について</b></p> <p>(1) 地域公共交通における、予約制乗合交通と路線バス及びタクシーとの三層による交通システムの連携確立を図るとあるが、どのような連携を目指すのか。</p> <p>(2) 西ノ原土地地区画整理事業については、基金などを活用した集中投資により早期完了を目指すことはできないか。</p> <p><b>2. 町の情報発信について</b></p> <p>町の情報発信のツールとして、ホームページやLINE、インスタグラム、広報紙、防災無線などを用いているが、様々なニーズに対応した、より効果的なものとする必要があると考える。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) ホームページに寄せられた意見を公表できないか。</p> <p>(2) 情報伝達のツールとしてケーブルテレビを活用できないか。</p> <p>(3) 情報発信などを総括する広報担当部署を設置できないか。</p> <p><b>3. 令和3年度災害復旧事業の進捗について</b></p> <p>令和3年度に発生した災害の復旧事業は、様々な要因により未だ着工されていない箇所もあると聞いている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 現在の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 未発注分の今後の見通しは。</p> <p>(3) 災害復旧事業に対応する組織編成は今後どうなるのか。</p>		

通告順位	2	通 告 者	6 番 岡 村 達 馬 議 員
質 問  事 項 及 び  要 旨	<p><b>1. 施政方針について</b></p> <p>「保健・医療」の項目に小児科誘致のことが記載されている。また基本方針においても挙げられているが、扱いが小さいように思える。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 人口減少が進む今、子育て世代や若い世代の移住・定住には小児科などの医療機関は欠かせないと思うが、具体的な対策や施策案は出せないのか。</p> <p>(2) 町長は、目指す「住みよい町」、「定住できる町」の実現に向けて精力的に取り組むとされているが、誘致の進捗状況はどうか。</p> <p>また、医師会等の反応はどうか。</p>		
	<p><b>2. 公立中学校の部活動地域移行について</b></p> <p>スポーツ庁有識者会議は、公立中学校の運動部活動について休日の部活動を学校から地域移行に委ねる提言をまとめ、次年度から取り組むとしている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 波佐見中学校での指導体制の現状は。</p> <p>(2) 今回の提言を受けて対応が急がれると思うが、取り組みは始まっているのか。</p> <p>(3) 「地域の実情に応じて可能な限り」とされているが、移行の目標を令和7年度までとしている。急がれる課題ではあるが、学校や教育委員会だけの問題としていいのか。</p> <p><b>3. ギガスクールにおけるデジタル教科書の採用と活用について</b></p> <p>ICTは学校教育の基盤的ツールとして必要不可欠とされており、1人1台の端末による教育は既に始まっている。令和6年度の本格的導入まで1年しかない。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 文部科学省は「デジタル教科書」を令和6年度から先行導入するとしている。教職員のスキルアップや業務負担増への対応及び受入体制は構築できるのか。</p> <p>(2) 実施にあたってのメリット、デメリットにどのように対応していくのか。</p> <p>(3) 保護者のデジタル教科書への理解と新たな経済的負担は生じないのか。</p>		

通告順位	3	通告者	5番 田添有喜 議員
質問事項 質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>全国的に少子高齢化が深刻な課題となっている。本町においても例外ではなく、高齢化が進むことにより、後継者不足をはじめ、あらゆるところで人材確保が大きな課題となっている。</p> <p>例えば、歩道や河川の整備、鳥獣被害対策などが挙げられる。誰もが安心して「住みたい」、「住みたくなる」まちづくりの推進について真剣に考える時期がきている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p><b>1. 道路整備と歩道整備について</b></p> <p>(1) 町道及び県道の道路整備について、今後、予定されている整備事業にどのようなものがあるか。</p> <p>(2) 町道の歩道にツツジ等が植え込まれている。年間の管理費はどの程度か。</p> <p>(3) 歩道の管理について、以前の答弁で作業員等の不足により十分な対応ができないとあった。今後どのような対策を考えているのか。</p> <p><b>2. 河川整備と「桜づつみ」の維持・管理について</b></p> <p>(1) 川棚川の河川敷の遊歩道（桜づつみ等）の管理費は、年間どの程度を要しているのか。</p> <p>(2) 「桜づつみ」や「ラブリバー制度」の遊歩道は、途中に整備されていない所がある。今後の整備計画（駐車場含む）は、どのようなになっているか。</p> <p>(3) 県管理下にある二級河川の今後の整備計画について、県からどのような報告があっているか。</p> <p>(4) 河川内の樹木の伐採等は早急に対応すべきと考える。各自治会等の協力を得ての対応は考えられないか。また、各自治会等への支援は考えられないか。</p> <p><b>3. イノシシ等の被害防止対策について</b></p> <p>(1) ワイヤメッシュ柵の老朽化に伴い、更新時期を迎えている地区はどこか。</p> <p>(2) イノシシ等の被害状況を調査し、今後の事業計画に活かしてはどうか。</p> <p>(3) 猟友会に対するさらなる支援の充実は考えられないか。</p> <p>(4) イノシシ対策として、廃石膏の活用は考えられないか。</p>		

通告順位	4	通告者	13番 尾上和孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 空き家・老朽化家屋の対策と相続登記義務化について</b></p> <p>(1) 令和3年3月議会において、平成28年度に策定した「波佐見町空家等対策計画」のなかで、危険度が高いと判定された空き家が40件あったとの答弁だった。その後の状況はどうか。</p> <p>(2) 同じ令和3年3月議会において、本町では「特定空家」に指定した空き家はないということで、今後、調査研究するとの答弁だった。調査研究の結果は。</p> <p>(3) 空き家バンク等の状況は。</p> <p>(4) 所有者不明土地の解消に向けて、不動産登記法が改正され、令和5年度から段階的に施行されると聞く。本町における内容と対策は。</p> <p>(5) 本町において、相続登記が的確になされていない家屋・農地・山林はどのくらいあるのか。また、対応策として今後どう取り組むのか。</p> <p>(6) 町として、相続登記にかかる経費の補助などは考えられないか。</p> <p>(7) 施政方針に挙げられている「波佐見町空家解体補助金」制度の内容は。</p> <p><b>2. 再利用できる資源の活用について</b></p> <p>(1) (株)メルカリでは、商品売って得た売上金を自治体に寄付する「メルカリ寄付」やリユース意識の定着を目的とした「メルカリエコボックス」に取り組まれている。 本町も導入する考えはないか。</p> <p>(2) 新庁舎移行に伴い、処分する物が出てくると思われるが、処分の方法は。</p>		

通告順位	5	通告者	8番 城 後 光 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 公共工事を取り巻く環境変化について</b></p> <p>令和3年8月の大雨により、町内各地で大規模な被害が生じ、復旧工事が行われている。既に工事が完了している地区も多くあるが、農地災害においては未着工箇所も存在する。</p> <p>入札が不調となる要因として、土木作業技術者の人手不足や、急速な資材価格高騰による工事請負業者の経営状況の変化が考えられる。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 直近5年間での公共工事における受注率の推移は。</p> <p>(2) 直近3年間で、公共工事にて再入札が生じた回数の推移は。</p> <p>(3) 公共工事の円滑な施工にあたって、直近で実施している町の取組は。</p> <p>(4) 他自治体で試行されている余裕期間制度を活用した工事発注を行う考えは。</p> <p>(5) 今回、採用試験への応募がなかった土木担当職員について、今後の採用計画は。</p> <p><b>2. 公共交通を取り巻く環境変化について</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大による社会生活への影響も長期化し、バスやタクシー等交通事業者の経営環境は厳しさを増し、運行本数の削減や営業時間短縮など、サービス規模の縮小の動きが顕著になりつつある。</p> <p>一方で、高齢化率は高まり、日常の移動手段を欲する町民の数は増え続けている。</p> <p>また、本町周辺の公共交通手段は新たな道路や鉄道網の開通により、大きく変化している。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 路線バスの本数削減に対して、今後どのような対策を検討しているか。</p> <p>(2) 今後、「佐世保市地域公共交通網形成計画」に参加する考えは。</p> <p>(3) タクシー事業者への労働条件改善などを目的とした助成制度を設けられないか。</p> <p>(4) 雲仙市や五島市等で実証中の、AIを活用したルートを指定しない乗合交通導入の考えは。</p> <p>(5) 職員が出張時に新幹線を利用しやすいよう、旅費規程を見直す考えは。</p>		

通告順位	6	通告者	7番 福田勝也 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>施政方針について</b></p> <p>町長は、定例会の開会にあたり新年度の町政運営について施政方針を述べられた。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 防災・防犯について 「空き家」の現状とその対策は。</p> <p>(2) 移住・定住について U I J ターンの促進や転入・転居者に対する定住支援施策の具体的な内容は。</p> <p>(3) 観光について ①令和4年度の観光客数は、どの程度（見込み）となっているか。 ②観光客数を5年後に125万人と目標設定されているが、具体的な対策は。</p> <p>(4) 高齢者福祉について 新規事業や拡充事業として、高齢者タクシー利用券助成事業や家族介護用品購入費支給事業の拡大などを計画されているが、その内容は。</p> <p>(5) 学校教育について 児童・生徒の学力向上に向けて、学力向上推進委員会やICT活用推進委員会での協議、検討がなされているが、その課題と成果は。</p> <p>(6) 歴史・文化・スポーツについて ①「スポーツの町波佐見町」として取組をどのように推進していくのか。 ② 中学校部活動の地域移行問題の現状と今後の動向は。</p>		

通告順位	7	通 告 者	2 番 濱 本 秋 人 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 観光地づくりについて</b></p> <p>「来なっせ100万人」が達成され、施政方針の中に5年後の目標として観光客数を125万人と定めてある。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 観光客数の現状はどうか。</p> <p>(2) 来町者のカウントは、どこで、またどのような方法で行われているか。</p> <p>(3) なぜ「125万人」なのか。</p> <p><b>2. 廃石膏リサイクル事業について</b></p> <p>本町の地場産業におけるSDGsの取組には敬意を表する。</p> <p>これまでの取組の経過と現状について問う。</p> <p>(1) 産業界で排出される廃石膏の総量の何パーセントがリサイクルされているのか。</p> <p>(2) 業界の何パーセントが参加しているのか。</p> <p>(3) 民間主導の運営は可能か。また、今後の運営の展望は。</p> <p><b>3. 人口減少対策について</b></p> <p>本町の人口は、1990年の15,728人をピークに、2020年の国勢調査では、14,291人となっている。更に、2032年には12,539人と推定されており、「元気な波佐見町」を維持するためには、何らかの対策が必要と思われる。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 他市町における地元就職者に対する支援等について、調査したことはないか。</p> <p>(2) 本町就職者への応援金支給の考えはないか。</p>		



通告順位	8	通告者	11番 北村清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>施政方針について</b></p> <p>(1) 今後、人口減少社会における介護需要の急増という困難な課題が見込まれる。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>①介護予防事業の充実や支えあいの整備体制は十分か。</p> <p>②介護の支援体制や施設等は十分か。</p> <p>③過重な業務に追われている職員の働き方改革は。</p> <p>(2) 10年、20年先のまちづくりを見据え、現在「総合計画」を策定されているところである。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>①過去に実施された大型事業などについては、膨らんだ負債で後年度に負担が重くのしかかり、身動きがとれない状態が続いた時期と返済が終了した現在との評価が真逆とも聞くがどうか。また、町長自身の評価は。</p> <p>②まちづくりの目標は「若者から高齢者までが一緒に楽しく暮らせる波佐見町をつくる」ことだと考える。これからも「人」の支援をしっかりと行うとあるが、同時に50年先を見据えた「人材投資」も特に必要だと思うがどうか。</p> <p>③町長は今後、どのようにミッション(目的)やビジョンを持って町政を運営されるのか。また、そのためには何が必要と思われるか。</p>		

通告順位	9	通告者	12番 脇坂正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 施政方針について</b></p> <p>(1) 「UIJターンの促進や転入・居住者に対する定住支援施策の充実を図る」、また「企業誘致に関しては、雇用の確保と拡大を図るために引き続き実施し、特に空き工場や空きスペースの情報を発信し誘致につながるようにマッチングに努めます」とある。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>①「定住支援施策の充実を図る」とあるがその内容は。</p> <p>②ここ3年間の企業誘致の状況と今後の見通しは。</p> <p>(2) 空き家対策について</p> <p>①「波佐見町空き家解体補助金」制度の概要は。</p> <p>②解体対象とする空き家の総戸数及び解体計画戸数は。</p> <p><b>2. 教育行政について</b></p> <p>(1) 「波佐見町奨学金」について</p> <p>①ここ3年間の貸与状況はどうか。</p> <p>②現在、高校生等は月額1万円以内、大学生等は月額2万円以内である。貸与金額の増額はできないか。</p> <p>③貸与金返還について、新規就農者等への減免拡大はできないか。</p> <p>(2) 子どもの体力テストについて</p> <p>①「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、子どもの体力は全国的に低下していると発表された。本町の結果と課題は。</p> <p>②低下しているとすれば、その原因をどう考えるか。また、その対策は。</p> <p>(3) 歴史・文化について</p> <p>施政方針に「郷土に埋もれている文化財の発見に努めてまいります」とあるが、具体的にはどのような事業か。</p>		

通告順位	10	通告者	3番 澤田昭則 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>施政方針について</b></p> <p>町長は施政方針の中で、少子高齢化や人口減少社会の到来を見据えた一手の必要性を挙げられ、まちづくりの根幹となる「人」への支援や、子育て世代に「選ばれる波佐見町」を目指した施策に取り組むとされ、主要な施策の概要を述べられた。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 本町には、総合公園としての「やきもの公園」、地区公園としての「鴻ノ巣公園」の2つの都市公園があり、町民の憩いの場としての活用と同時に観光資源としても活用されているが、町民の憩いの場や健康・運動等の場として、居住住宅が多い地区や町中心部の地区等を選考して街区公園や近隣公園等を新設する計画は考えられないか。</p> <p>(2) 定住支援施策の充実を図ることは重要である。町内の民間宅地開発事業者等においても移住・定住を促進し、官民一体で人口減少対策と地域の活性化を図られている。</p> <p>新たな開発における上下水道整備などの宅地造成費用に対して民間宅地開発支援事業補助金等を交付できないか。</p> <p>また、複雑な開発許可申請の手続きも簡便化できるよう制度改正は考えられないか。</p> <p>(3) 商工業事業者については、新型コロナウイルスに対する資金対策や事業継続支援金による経営支援があるが、町民においては物価上昇や電気料金等の値上げが暮らしに大きな影響を及ぼし、家計の経済的負担が増え消費が低迷している。</p> <p>全世帯を対象にした町独自の生活支援応援券事業等は考えられないか。</p> <p>(4) 観光振興について、県観光審議会では本町の「観光地づくり実施計画」が原案どおり承認された。本計画は県のまちづくり関連の補助金を受けるが、その内容と計画は。</p> <p>(5) 行財政運営について、現在、基金は積立基金のみでもふるさとづくり応援基金など16のものがあるが、各基金の中で運用目的を共有できて組み合わせられるものを1つにまとめることができないか。</p> <p>また、この困難な社会情勢を乗り越えるため、運用可能な基金を取り崩して少しでも緊急的な事業に活用できないか。</p> <p>(6) 学校教育においてふるさと教育の充実が図られているが、中でも南小学校では「ふるさと祭り」の一環で、商工会青年部主催の1日限りのおしごと体験「わ</p>		

くわくワークDAY」が様々な地元関係者の協力や経費的支援を受け開催されている。

町のふるさと教育事業として、町内の全小学校の児童を対象に開催できないか。

(7)「スポーツの町波佐見町」としての取組の推進について、各種スポーツの場として、また運動会や町民のイベント、レクリエーション等での利用を目的に、ドーム屋根構造の全天候型屋内多目的広場の新設整備は考えられないか。

通告順位	1 1	通 告 者	4 番 岡 村 真由美 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>施政方針について</b></p> <p>施政方針にある以下の項目に関連して質問する。</p> <p>(1) 小児科の誘致について</p> <p>①小児科誘致に要する費用をどの程度と見込んでいるか。</p> <p>②小児科誘致の進捗状況と今後の見通しは。</p> <p>③産婦人科の減少をどうとらえているか。</p> <p>(2) 保育士の確保等について</p> <p>①本町にあった町立保育所が閉鎖されていった経緯と跡地の現状は。</p> <p>②「鴻ノ巣保育所」の建替え及び建替え時に駐車場や道路の改修に要した総経費は。</p> <p>③閉園当時、「鴻ノ巣保育所」に在籍していた園児（年齢別）及び職員の人数は。</p> <p>④町内の5歳児の人数と各園に在籍する5歳児の人数及び担当保育士の人数は。</p> <p>⑤保育士を確保するために町がこれまで講じてきた対策と成果及び展望は。</p> <p>(3) 波佐見高校への支援について</p> <p>①美術工芸科の定員割れが続いている。具体的な支援策は考えられないか。</p> <p>②西肥バスの減便状況を、通学手段の観点からは、どうとらえているか。</p>		